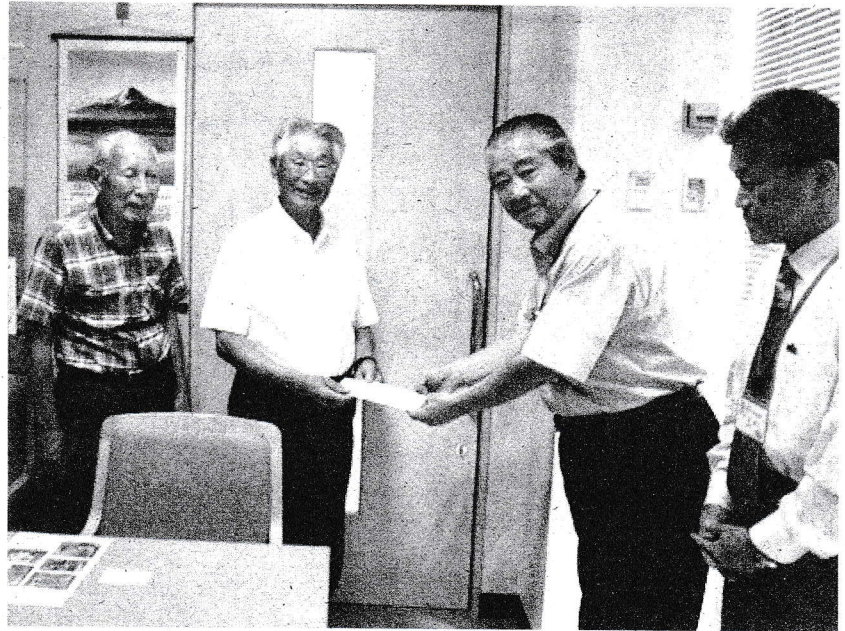


富士宮歩こう会 交通遺児のために役立てて 市社協に寄付



寄付金を手渡す森竹会長（左から2人目）

富士宮歩こう会の森竹健治会長と石川忠事
市社会福祉協議会を訪れ、交通遺児の育成や福祉増進を目的に同会

に対し5万3969円を寄付した。

「富士宮歩こう会」は市内大宮町の事務所を拠点に、2025年8月19日現在161人の会員で活動。健康に

留意しながらメンバーで日本各地を歩くことを目的にしている。9月には富士山お中道や勝沼ぶどうの里、10月には木曽路のウォーキングを予定している。

今回の遺児・交通遺児への寄付は、交通災害により親を失った児童に対し「交通遺児指

定寄付金」をもとに、学資手当を支給し、健全な育成、福祉の増進を目的とするもの。同会の寄付は今年度で3回目となる。

同日は森竹会長と石川事務局長が同協議会を訪れ、太田精一同協議会長に寄付金を手渡した。

寄付金は8月1日から3日にかけて行われた「マイロード本町七夕まつり」で会員から集めた756点の品物を販売したもの。各家

庭で眠っていた日用品「や取れたての野菜や花などを掘り出し市で販売し、売上金4万6050円と市民への呼び掛けで集まった募金1万2719円から必要経費を除いた合計を寄せた。

森竹会長らは「交通遺児のために役立ててほしい」と話した。

太田会長は寄付に感謝の言葉を述べた上で「いただいた寄付金は交通遺児のために、そして住みよいまちづくりのために活用していきたい」と述べた。